

# 須恵

## これ知っとう? わが町の宝物 第12回

### す え まちしょうぼうだん そうほうたいかい 須恵町消防団 (操法大会)



時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…  
須恵町の大切な宝物をご紹介します。

須恵町消防団は、町内各地区を所管とする10分団で組織されています。

各分団では、町民の生命と財産を守るため、さまざまな消防団の活動の中、夏の時期を迎えると、10分団が一堂に会し、熱い戦いが繰り広げられる「消防ポンプ操法大会」が開催されます。

「消防ポンプ操法大会」とは、消防技術の向上と指揮の高揚を目的に、実際に設置した防火水槽の「水利」から、火災現場を想定した「火点」に、ホースの延長、放水、消火、納めまでの基本操作を競う大会で、50年を超える歴史があります。

この時期、団員は約1カ月間を訓練に費やします。これは突然の火災等を想定して、機械器具を使った迅速な行動をとるための大切な備えです。

自動車ポンプ部門と小型ポンプ部門の2種類に大別

されていて、本業を別持つ団員達の頑張りのもとより、家族などの理解や協力のもとに成り立っています。

これに優勝した分団は、更に1カ月間の訓練を経て糟屋地区大会に進み、更には2年に一度の県大会、全国大会への権利を有します。

今年がその年で自動車ポンプ部門となっています。2年に一度県大会があり、自動車ポンプと小型ポンプが交互に全国大会があるため、各分団の出場権は五輪と同じ4年に一度となります。

この全国大会に当町は平成22年に本部分団、平成28年に上須恵分団が出場し、共に優良賞に輝きました。

この規則正しい動作やスピードを全国レベルで競い、技量を向上させる競技に、当町からより多く出場して欲しいものです。



今年の操法大会は6月3日(日)会場は須恵中学校テニスコートです。ぜひ応援に来てください。

須恵町消防団 団長  
今泉和則さんにお話を伺いました。



### 編集後記

平成30年度が始まりました。本年は町長選挙が行われ、本号が発刊される頃には新町長が決まっていると思います。また4月からは国民健康保険制度が変わります(12頁参照)。

本頁の「わが町の宝物」では、当町消防団の操法大会について解説されています。

今泉団長の思いを伺うと、4月から夜間・早朝・休日と訓練するが練習場所の確保で困っている分団がある。

今までの流れや質を落とさず実施したいが、基本となる、人員の確保が困難。

怪我なくベストを尽くして頑張りたい、とのこと。

町民の生命や財産を守るという、重要な使命を担う消防団の方々には敬意を表すとともに、何かあれば我々もできる限り協力するという立場を忘れたくないものです。

白水 勝元

### 発行責任者

議長：三角 良人

### 広報特別委員会

委員長：今村 桂子  
副委員長：白水 勝元  
委員：合屋 伸好  
委員：三角 栄重

## 3月定例会

主な内容

- ともに生きる町づくり 2
- 平成30年度事業の目玉 6
- 一般質問 4議員が登壇 8
- 国保が変わりました 12
- これ知っとう?(須恵町消防団) 16

表紙シリーズ/未来を担う子どもたち「春をにおう」





三角 良人 議長

3月  
定例会

# ともに生きる町づくり

平成30年第1回定例会は、3月2日から20日までの19日間で行われ、審議の結果、提案された議案19件を原案のとおり可決しました。

## 町の財布をチェック

### 一部事務組合への負担金

糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合	290万円
北筑昇華苑組合	117万円
須恵町外二ヶ町清掃施設組合	3億5875万円
粕屋南部消防組合	3億1036万円

### 特別会計への繰出金

国民健康保険特別会計	2億6102万円
後期高齢者医療特別会計	9362万円
公共下水道事業特別会計	3億707万円
農業集落排水事業特別会計	5365万円
水道事業会計	100万円

### 基金の状況

	29年度末(見込)	30年度積立(予定)	30年度取崩(予定)	30年度末(見込)
財政調整基金	21億780万円	179万円	2億5000万円	18億5959万円
減債基金	2億8363万円	28万円	0円	2億8391万円
自然教育林基金	2025万円	2万円	0円	2027万円
水道水源保全基金	1億1171万円	11万円	0円	1億1182万円
計	25億2339万円	220万円	2億5000万円	22億7559万円

### 30年度に施工される工事

第一小学校 下水道接続工事	2526万円
道路・舗装改良工事(総額)	5350万円
● 一番田地区7・8工区	3500万円
● 内原～大谷線	1400万円
● 藤浦団地3号線	450万円

※すべてのページにおいて金額は1万円未満を切り捨てています。

**歳出**  
須恵第三小学校校舎外壁・防水改修に8500万円、国の交付金を活用した道路橋梁の改良補修事業に5350万円が計上され、交通の安全の確保や生活環境の維持・向上が図られます。

**歳入**  
町税は、前年度比1・6%増、約4400万円の増収を見込んでいます。  
しかし、依存財源は、財源の半分以上を占め、国や県の交付金に頼っている現状にあります。また、財源不足に充てるため、財政調整基金から2億5千万円を繰り入れます。

平成30年度一般会計当初予算は、80億円で、前年度に比べ、3億5千万円の減額(△4・2%)となりました。

■平成30年度一般会計当初予算  
**今後の可能性を探る**

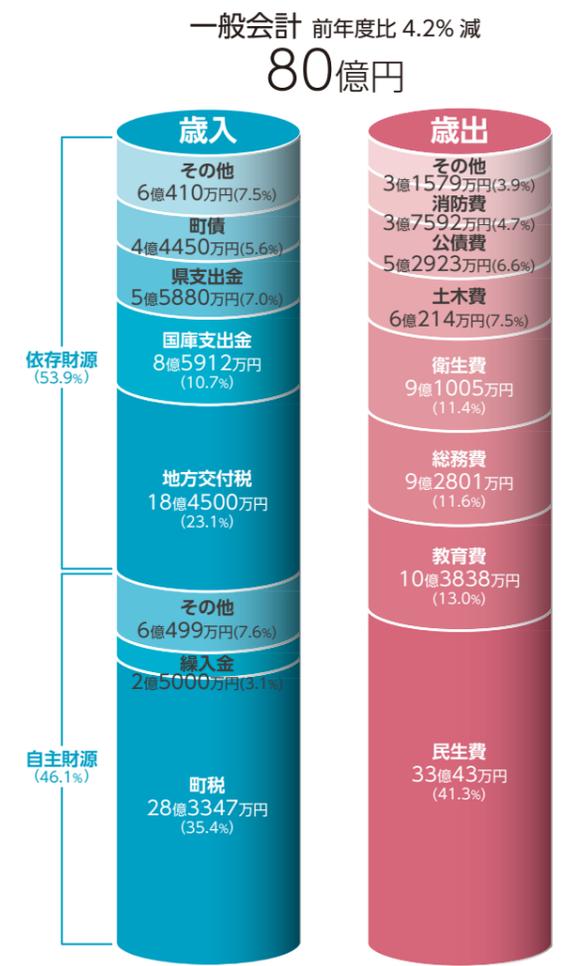


**財政調整基金繰入金**  
(貯金の取り崩し)  
2億5000万円

**町債(借金)**  
4億4450万円

**債務負担行為**  
防災行政無線整備工事  
設計監理業務委託料  
平成30年度～31年度  
1500万円

※債務負担行為  
1つの事業や事務が単年度で終了せず、後年度においても負担(支出)が必要になる場合に、あらかじめ後年度の債務を決めておくこと。



平成30年度の主な事業は6～7ページ『事業の目玉』でも紹介しています。

限られた予算の中で、必要な施策や事業について積極的に取り組み、適正に運営されるよう、議会としてもしっかりと監視していきたいと思えます。

### 平成30年度 特別会計・水道事業会計 当初予算

#### ●国民健康保険特別会計

30億3000万円  
前年度比 7億8600万円減(-20.6%)  
国保の制度改正に伴い大幅に減額。  
改正内容はP12へ掲載

12対1  
可決

#### ●後期高齢者医療特別会計

3億2600万円  
前年度比 1400万円増(+4.5%)  
被保険者数の増加等により保険料収入の増  
が見込まれる。

12対1  
可決

#### ●公共下水道事業特別会計

11億8300万円  
前年度比 7600万円増(+6.9%)  
前年度に比べ、管渠築造工事等が増。  
平成29年度末の下水道普及率は85.4%

全員賛成  
可決

#### ●農業集落排水事業特別会計

8500万円  
前年度比 600万円増(+7.6%)

全員賛成  
可決

#### ●水道事業会計

収益的支出:5億7339万円(+3.3%)  
資本的支出:2億3773万円(-39.3%)  
3ヵ年事業で行っていた緊急時用連絡管事  
業が平成29年度で終了したことにより大  
幅に減額。

全員賛成  
可決

## Q&A 予算審査特別委員会の 質疑から

平成30年度分 一部抜粋

議長を除く議員全  
員(13名)で構成さ  
れる予算審査特別  
委員会において、  
新年度予算の審議  
を行いました。

### ? 教育支援事業 の予算減額理由は?

Q ヤングアドバイザーの予算が  
減っているが、その理由は?

A 子ども教育課長

大学が近くになく、須恵町が  
通学沿線ではない等の理由から、な  
かなか来てくれる大学生が見つから  
ず、人数を減らしたため減額になっ  
ている。  
学校としても人員確保が課題であ  
る。

※ヤングアドバイザーとは  
教師や臨床心理士を目指し、教職  
課程や心理学を学び、子どもへの理  
解と情熱を持った大学生(2年生以  
上)をヤングアドバイザーとして小中  
学校へ派遣している。  
集団生活への適応や情緒の安定を  
図ることを目的に、心理的・情緒的に  
課題を持つ児童生徒に対して、話を  
聞いたり、学習の支援を行う。

### ? ランチサービス 利用状況は?

Q どのくらいの人が利用してい  
るのか?

A 子ども教育課長

現在は2割ほどの利用者だ  
が、平成29年3月から委託業者を変  
えたことにより少しずつ増えてきて  
いる。  
4月に入り、新一年生も入ってこ  
るので、今後増えるの見込んでい  
る。

### ? 西鉄バスへの運行経費 補助金は?

Q 西鉄バスから運行経費補助金  
の増額要望があっているか?

A まちづくり課長

※運行経費補助金とは  
本町の交通不便地域の交通手段を  
確保するため、赤字路線である西鉄  
バス「佐谷〜新生線」の運行経費に対  
し、一部補助を行っている。  
平成30年度も300万円を計上し  
ており、これにより、福岡市への交  
通手段の確保を図っている。



便数が少ない路線バス

## 3月定例会 その他の 議案

### 29年度 補正予算

各会計とも、年  
度末の決算見込  
額による調整が  
行われています。

#### 特別会計

##### ◇国民健康保険特別会計

1億226万円を減額  
総額 37億1409万円  
(全員賛成で可決)

##### ◇後期高齢者医療特別会計

561万円を追加  
総額 3億2000万円  
(全員賛成で可決)

##### ◇公共下水道事業特別会計

606万円を減額  
総額 11億732万円  
(全員賛成で可決)

##### ◇農業集落排水事業特別会計

28万円を減額  
総額 7871万円  
(全員賛成で可決)

#### ■水道事業会計

収益的収入 1500万円を追加  
支出 510万円を減額  
資本的収入 3030万円を減額  
支出 4500万円を減額  
(全員賛成で可決)

## その他の採決結果

福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更 豊前広域環境施設組合が解散することに伴う変更	全員賛成で可決
町道路線の認定 町道路線網の整備を図るため、4路線を新規認定	全員賛成で可決
須恵町西作業所設置条例の制定 須恵町シルバー人材センターの発展および会員等の福祉の増進を図るための拠点施設	全員賛成で可決
須恵町国民健康保険税条例の一部改正 国民健康保険税の税率の改定など	賛成多数で可決
須恵町後期高齢者医療に関する条例の一部改正 県に移行するための改正 (P12 参照)	賛成多数で可決
須恵町国民健康保険条例の一部改正 県に移行するための改正 (P12 参照)	全員賛成で可決

一般会計  
3億1125万円を減額  
総額 84億5508万円  
(全員賛成で可決)

基金の取り崩しは  
1億9784万円に

工事請負費等の減額に伴い、財政調  
整基金からの繰り入れが3億1210  
万円減り、29年度の基金取り崩し額は  
1億9784万円となる予定です。  
これにより、基金残高(財政調整  
基金・減債基金の合計)は、約23億  
9143万円が確保される見込みと  
なっています。

平成30年度

# 事業の目玉

健康



### 歯周疾患 個別検診

30万円

歯周病は40歳以降に歯を失っていく大きな原因です。

普段からの口腔管理はもちろん、定期的な歯科受診を推進し、成人の歯周疾患を予防することを目的としています。

対象者は須恵町に住民票を有し、40歳、50歳、60歳（年度末の年齢）の人で、5月末ごろ町より受診券を送付します。

期間は平成30年6月1日～平成31年1月31日です。



税金



### 滞納整理 指導員賃金

151万円

町の公共を維持するため、町税は大切な財源です。また、納税の公平性を保つためにも収納額の確保は重要です。

滞納整理業務及び収納担当職員の技術的助言、徴収吏員としてのスキルアップ、収納率向上を図ることを目的に30年度より国税庁OBを任用します。



### 議場設備 リース料

913万円

議会

平成元年の庁舎建設から使用している議場内の撮影用カメラ・マイク・音声録音装置等の設備老朽化に伴い、リース契約による更新を行います。

あわせて、今後の議会運営をより効率的に行うため、ペーパーレスにも対応できる設備導入を進めます。



### 第三小学校 校舎外壁・防水 改修工事

8500万円

教育施設

平成5年の開校から24年が経過し、老朽による劣化が進む中、剥離等が目立つ校舎外壁及び雨漏りによる屋根腐食等の防護のため改修を行います。

あわせて室内照明灯とトイレ改修工事を行います。

工事は、3ヶ年計画で実施し、平成30年度は体育館、多目的ホール部分の改修を行います。工事は夏休み期間中の予定です。



### 須恵中学校 多目的ホール エアコン設置工事

853万円

教育施設

小中学校で多目的室等の特別教室にエアコンを設置し、熱中症対策あるいは大気汚染等対策時に有効利用できるように、平成26年から順に設置工事を行ってきました。

須恵中学校が最後の設置校となります。

また、多目的ホールに間仕切りがないため同時にパーティション（簡易間仕切り）設置工事を行う予定です。



劣化が目立つ屋根



クラックが入った壁

設備

### 駐輪場の管理状況について

## 当面駐輪場変更計画はない

**問** 町内のJR各駅には、駐輪場が設置され、通学や、通勤者等で使用されています。しかし、現実的には放置されている自転車かなりの台数があるように感じます。日々の管理状況等についてお尋ねいたします。

町内のJR各駅には、駐輪場が設置され、通学や、通勤者等で使用されています。しかし、現実的には放置されている自転車かなりの台数があるように感じます。日々の管理状況等についてお尋ねいたします。

答弁中の中嶋町長



**答** 稲永地域振興課長

町内には、JR新原駅・須恵中央駅・須恵駅があります。各駅に駐輪場が設置され、多くの方が利用されていますが、日常的に放置自転車や決められた場所に止めないなどのマナーの悪さも目立っています。特に、平成27年以降の駅員無人化に伴いその傾向が顕著にあらわれ、現在では管理全般について町が対応しているところでは、



猪谷 繁幸 議員

放置自転車については、年度が替わる時期や住民からの通報時に現地を確認し、「注意喚起・処分予告」の張り紙を貼付しています。その後、警察へ防犯登録の照会をするなど対応しており、放置自転車を定期的にな



多くの利用がある須恵中央駅駐輪場（平成30年3月9日撮影）

くしていくことが、駅周辺の環境美化にも繋がっていくと考えています。県道拡幅工事に伴う駐輪場の変更については、現道路用地内での改良となるため、須恵中央駅の駐輪場の変更等が計画されることはありません。

# ここが聞きたい！

## 一／般／質／問

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。

子育て

### 子どもの居場所づくり事業の今後は

## 継続してやっていきたい

**問**

子どもの居場所づくり事業が始まり、2年が経過しようとしています。子どもの数も年々増え、子供達も楽しくすごしており、内容も充実していると感じています。この事業は、3年間の補助金で運営していますが、のこり1年となりました。シルバー人材センターに委託しており、高齢者の方々も楽しく活動されています。補助金がなくなつた

後も、継続してほしいとの声があがっています。今後の取り組みについてお聞きします。

**答** 安河内教育長

居場所づくり事業は、平成28年度からシルバー人材センターに委託し、オイコスを拠点に、長期休業中の夏休み、冬休み、春休みの年3回実施し年々申込者も増えていきます。事業費は、国庫補助金及び町委託金がそれぞれ60万円、保護者負担金を含めた総事業費が200万円となります。



今村 桂子 議員

事業継続のためには、平成30年度で終了する国庫補助金をどう補填するか、今後事業内容を精査し本年度中に方向性を示したいと考えています。

教育

### 不登校児対策の現状は

## 支援チームで対応

**問**

不登校児に対応するため、やまももルームが開設されて2年になります。場所も、役場近くのアパートの一室から、第一小学校の旧学童の後に移転して1年が経過しました。不登校の現状、最近のやまももルームの現状、今後の取り組み、課題などについてお聞きします。

**答** 安河内教育長

不登校児童生徒数は、平成30年1月末現在で小学校5名、中学校38名となっています。不登校への対応は、県の指針に基づいて進めており、遅刻数や保健室への来室が増えなどの兆候が出た段階で、

専門的な支援チームを組織し柔軟に対応しています。

やまももルームについては、支援員3名体制で、ルームの開室日は原則学校と同じで、開室時間は9時30分から15時までと学校の児童生徒と接触がないよう配慮しています。個々の児童生徒にあった活動内容にするためには受容と共感など寄り添った支援が必要で、今後は児童生徒だけでなく、保護者に対する支援も充実させたいと考えています。

**答** 中嶋町長

この二つの事業については、補助金が終了しても継続してやっていきたいと思えます。

防災

早急に地域防災計画の見直し強化を

すで見直し済み

**問** 2016年の熊本地震、昨年7月九州北部豪雨、全国各地で地震や豪雨災害、火山活動などで災害が発生しています。災害対策基本法第1条では「国、地方公共団体及びその他の公共機関を通じて必要な体制を確立し、責任の所在を明確にする」としています。柏屋医師会は九州北部豪雨を受け策定した大規模自然災害時の地域救護計画で古賀市糟屋地区7町との協定締結をめぐっています。早急に町長は地域防災計画の見直し強化を進めるべきです。

**答** 満行総務課理事 地域防災計画は、昨年3月に大幅な見直しを行い、全編600ページに亘り改定したばかりです。国・県の方針や計画の見直しが行われた際には、随時見直しを行うよう、昨年9月の全員協議会で説明しました。須恵町地域防災計画の概要版でも、十分詳細な回答が網羅されていると考えています。

制度

県とともに国保運営に 国庫負担を要請すべき

30年度 3400億円投入

**問** 4月から国民健康保険の財政運営が県に移行します。県の標準保険料率で保険料は町が決めますが、県への納付金は「100%完納が原則」としています。厚労省は2018年度、制度改定による保険料が急増しないよう、公費の投入、町が行う「赤字補てん」の法定外繰り入れを原則6年の計画期間としています。県は2020年までとされています。平成29年6月末時点で、国保料が高いため滞納世帯が481世帯、短期証の方は396世帯です。町長は国庫負担を要請すべきです。

**答** 梅野住民課長 須恵町は、この10年間で一般会計から10億円以上を繰入れ、国保会計の赤字補てんを行っています。国は、この「国保制度」を子や孫の代まで持続させるため、国民健康保険法等の改正により、国保への財政支援を拡充し、財政基盤の強化を行いました。全国で、27年度から約1700億円、30年度から3400億円の公費が投入されます。国庫負担の増額はありがたいことですが、増額になるということは、国保被保険者以外の方の負担を強いることも予想されます。まずは、この3400億円の公費投入の継続を希望したいと考えます。



答弁中の中嶋町長



児玉 求 議員

町政を問う！

一般質問

まちづくり

4期16年の町政の総括と、今後のまちづくりに期待する事は まずは執行部と議会の関係を

**問** 4期16年、本年4月末日の任期満了を機に、後進に道を譲るべく町長退任を表明されました。これまで、町の合併協議や、行財政改革による財政の立て直し、4期目には、独自の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方の人口減少が進む中、地域価値の向上を図られました。行財政策による子育て支援や福

祉の充実、インフラの整備により、町は大きく発展し人口も確実に伸びました。しかし、町は常に発展しなければなりません。そこで、町政の総括として4期16年の自己評価と、後進に期待する今後のまちづくりへの想いをお尋ねします。



松山 力弥 議員

**答** 中嶋町長 総括は町民がすること、町長として自分を評価することはできません。

ドイツの哲学者ヘーゲルが提唱した概念に「アウフヘーベン」という言葉があります。これは、『そのものを否定するが発展の契機として捉えること』と訳さ

れています。議員は別です。議員は町民の方々から意見を求められたい、あれもしたいこれもしたいでいいわけです。首長になると、あれかこれかを選択しなければいけません。その選択が正しかったかどうかは、議員や町民の皆様方の判断に委ねることになります。

今後のまちづくりに期待する事は、須恵町ほど議会と執行部が良好な関係を築いている市町村はありません。言うべきところはお互いきちんと言い合う、ぜひ、今後ともそれを継続していただきたいと思っています。



アザリア幼稚園



れいんぼ一幼稚園

中嶋町長在任中に建設した主な施設

# 公民館から 防災会館へ



〈施設概要〉  
 ・延床面積 394.17㎡ (約 119 坪)  
 ・総工事費 約 9,806 万円  
 ・所在地 須恵町大字須恵 377-36



3月27日 竣工式が行われました

昨年9月より工事に入り、本年3月15日に城山区公民館は城山防災会館に生まれ変わりました。城山区は土砂災害警戒区域が一部かかっている所があり、65歳以上の方が40%と町内行政区の中でも高い割合を占めています。災害時の避難所として指定されていましたが、昭和50年建設から40年余りが経過し、まだ、耐震構造となっておりませんでした。このような理由により、このたび城山区より寄付(3,000万円)と交付税措置がある起債をもって、指定避難所や防災資材倉庫を備えた施設の完成となりました。地震・台風・大雨などの自然災害の際には、住民の方々が早めに防災会館に避難していただき、一夜を過ごせるように備品等が整備されます。今後は、平時は城山区公民館として皆様にご利用いただきながら、有事の際には城山区の防災活動の拠点となることを期待しています。また、公民館として多くの方々に利用していただく事を望んでいます。



広々とした防災教育室



車いすもゆっくり通れる  
バリアフリーの廊下



みんなが使える多目的トイレ



テントなどの防災資材倉庫



城山防災会館の名のとおり、区民の防災意識を高めていきたいです。また、公民館の機能として、人と人とのつながりにより、おおきな絆を作りたいと思います。公民館でいろいろな活動を行うことで、町の発展につくせればと考えています。

かまや ぎよふみ  
金谷 聖文 城山区長

平成30年4月から

## 国民健康保険制度が変わりました!

これまで市町村単位で運営していた国民健康保険が、平成30年4月から、県と市町村が協力して運営する方式になりました。

### 今までの制度の課題

- ①年齢構成  
高齢者の割合が高く、医療費水準が高い
- ②財政基盤  
所得水準が低いため、保険税収入を増やす場合は、保険税負担が重くなる可能性がある
- ③財政の安定性  
保険税収入が低い反面、医療費支出が大きい  
ため、財政収支が不均衡、不安定になることがある  
※これら①～③について市町村で格差がある

今後は

このような課題を抱える国民健康保険を持続可能なものとするため、**県が財政運営の主体**となることで、財政基盤の安定化を目指します。



### ▶保険税の決め方が変わりました

この改正により、保険税の決め方が次のようになりました。  
 ①県が、市町村ごとに加入者の所得や医療費水準をもとに納付金を決定し、標準保険税率を示します。  
 ②町は、それを参考に保険税率を定めて保険税を賦課します。  
 (県に納める納付金は毎年算定され、その金額により標準保険税率も変わります。)

### ▶須恵町国民健康保険運営協議会において

町長からの保険税率の改定についての諮問を受け、国民健康保険運営協議会で審議が重ねられ、その結果を町長に対し答申されました。

県が各市町村の標準保険税率を公表するなど 国保財政の「見える化」が図られることになる。この標準保険税率と実際の保険税率が大きくかけ離れると、国保加入者だけでなく、それ以外の町民に対しても大きな影響を与えることになる。そのため、提示された標準保険税率を大きく変えることなく、低所得者に配慮した改定を行うことが適当である。(一部抜粋)

### ▶3月定例会において、関係条例の一部改正について可決しました ※ P5 関連

この新しい制度により、一般会計から国保への繰出金が減ることを期待しています。

### 議長通信



三角 良人 議長

### 傍聴者のこえ

議会の傍聴に町民の方が訪れます。なかでも、「一般質問」時は多く、初めての方や毎回足を運んでいただく方もいます。

議会では、傍聴者にアンケートを配付し、さまざまな視点から、貴重なご意見をいただいています。

議員の質問や執行部の答弁についての感想や評価、町の施策に対する要望、また、質問者が少ない、

調査不足、具体的な数値を示されていないなど、厳しい声もあります。

議員は、町の課題について問い質すことで、町のあり方を変えていく「一般質問」の本来の趣旨により町を監視する一方で、有権者である町民から、議員としての資質や提案能力を監視されていると感じます。

町民みなさまの声を真摯に受け止め、議員の個別要求やパフォーマンスの場とならぬよう、また議場を占拠し単なる演説とならぬよう、十分な分析と準備をした上で一般質問に臨むことが必要だと考えます。

町議会議員も、任期を1年残すのみとなりました。町民みなさまの負託に答えるべく研鑽を重ね、より

信頼される議会となるよう努力していく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

#### 【一般質問 あるある】

- ・確認だけの質問
- ・個別要求が過ぎる質問（地元や個別団体の要求がむき出しになってしまっている質問）
- ・国の政策で、町とのかかわりが薄い政策についての質問
- ・町には合わない、隣の芝生は青い質問
- ・根拠なき批判にとどまる質問
- ・自身の政治信条に終始する質問
- ・論点を入れすぎた質問

### すえっ子未来ちが



作・田原ウーゴ 1979年須恵町生まれ、イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <http://polyworks.jp>

### 第1回 臨時会

平成30年1月30日

人事院勧告に基づく一般職および特別職の職員の給与に関する法律の改正にともなう条例改正案など、9議案を審議し、いずれも全員賛成で可決・承認しました。

- 須恵町税条例の一部改正(専決処分)
- 須恵町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 須恵町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 工事請負契約の変更
- 平成29年度須恵町一般会計補正予算
- 平成29年度須恵町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成29年度須恵町公共下水道事業特別会計補正予算
- 平成29年度須恵町水道事業会計補正予算

### 人事案件の審議結果

須恵町固定資産評価員の選任

今泉 俊裕氏(甲植木区・61歳)

須恵町固定資産評価員 平松秀一氏が平成30年3月31日をもって辞任のため、後任として選任



### 本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)



ホームページで本会議の会議録を公開しています。

須恵町議会 検索

平成23年以降の会議録を掲載しています。ぜひご覧ください。

次の定例会は6月8日からの予定です。

### 総務建設産業委員会 視察研修レポート

### 大木町循環センター「くるるん」

福岡県大木町を視察 平成30年2月7日(水)

循環のまちづくりの拠点として、生ごみ・し尿・浄化槽汚泥をバイオマス資源化する施設です。

この施設は、焼却を中心とする現在のごみ処理と異なり、廃棄物資源に軸足を移す持続可能な循環社会をめざす試みと思います。

町の面積の14%、総延長215kmの掘割がある大木町の地形の事情で、下水道を整備する事が困難です。そのため独特の方式を採用し、各家庭や給食センターから出る生ごみやし尿、浄化槽汚泥をセンターに搬入し、処理しています。

処理により発生するメタンガスで、電力や液肥などを生産し、電力は施設内で使用。液肥は、無料(散布代は有料)で水稻や麦



などの土地利用型の作物に循環活用します。この方法は町民の協力がなければできませんが、大木町は循環のシステムを確立しています。状況・方法は違いますが、須恵町においてもごみを出せるだけ資源化する方法は見出していかねばなりません。



## 追跡 一般質問のその後

執行部の答弁は実行されているのか?

過去の一般質問の内容に対し、どのような対応がなされたか、また、どのように町政に反映されているのか追跡しました。

### 制服のリユース促進を(平成24年3月議会)

**質問** 教育にかかる費用を少しでも節約したい、という思いから、学校ぐるみで制服や体操着を譲り合う取り組みが広がっています。厳しい経済状況の中で、家計の支援と子どもたちに物を大事にする心を養うことを目的として、制服のリユースを子ども教育課が窓口になって行ってはどうですか。

**答弁** 制服のリユースについては賛成です。しかし、それを行政サービスとして行うのは、本町の教育施策である「感動・感謝・共感を生む教育のまちづくり」にはつながらないと思います。町としては、学校と保護者による活動が最も意義あるものと考えており、その活動が普及するよう広報活動をしていきます。

昨年末より、須恵中学校独自の取り組みで、リユース運動が始められました。校内に回収箱を設置し、卒業生の保護者や地域の方へ呼びかけ、制服や体操服、通学カバンなどを提供してもらっています。本年3月末で67点ほど集まり、申込みは10件、サイズなどを考えるとまだまだ不足している状況とのことです。

保護者や生徒からは、新規購入は高額なのでとても助かる、このようなシステムができてありがたい、協力できて良かった、などの声が聞かれたそうです。



事務室前に設置された回収箱

その後